

なると 市議会だより

2012年
6月1日号

No. **79**



— 写真の解説 —

(←)写真上：72年間の歴史に幕を閉じることとなった川崎幼稚園・小学校の閉校式が3月18日(日)に同小学校体育館で行われ、多くの関係者が参加し、名残を惜しましました。

(↓)写真下：林崎・里浦スポーツ少年団が、J A全農杯チビリンピック小学生8人制サッカー四国大会を制し、全国決勝大会に出場することになり、4月26日(木)に市役所へあいさつに訪れました。選手の皆さんからは全国大会での意気込みを聞かせていただきました。



TOPIX

- 市議会だよりが4ページ増!
「より見やすく」しました。

目 次

②	○第1回定例会の主な審査状況 ○人事案件(第1回定例会)	⑦	個人質問 ・潮崎 焜及 ・坂東 成光
③	○【一般質問】 代表質問 ・会派 新みらい 三津 良裕 ・会派 ひまわり 横井 茂樹	⑧	○中国 張家界市訪問団が市議会を訪れました
④	代表質問 ・会派 新政会 大石 美智子 ・会派 明政クラブ 山根 巖	⑨	○第1回定例会の提出議案と議決結果について ○請願の処理
⑤	代表質問 ・会派 公明党 松浦 富子	⑩	○平成24年度当初予算・平成23年度補正予算の 審査について
⑥	個人質問 ・宅川 靖次	⑪	
	個人質問 ・平塚 保二 ・上田 公司	⑫	○第2回定例会日程

発行／鳴門市議会
☎772-8501
徳島県鳴門市撫養町南浜字東浜170番地
☎ 088-684-1234 ☎ 088-684-0814
✉ gikai@city.naruto.lg.jp

編集／議会だより編集委員会 発刊月／3・6・9・12月

市議会の本会議および常任委員会の模様は、インターネット放送で、ご覧いただくことができます。
<http://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>
より「鳴門市議会映像配信」をご覧ください。

第1回定例会の主な審査状況

2月22日(水) 第1回定例会 開会 予算決算委員会

- ・市長から市政についての所信が表明され、平成24年度一般会計予算など議案39件、報告1件が提出されました。
- ・議案14件を所管の常任委員会に付託しました。

2月27日(月) 一般質問

- ・5会派による代表質問を行いました。

2月28日(火) 一般質問

- ・議員4名による個人質問を行いました。

2月29日(水) 一般質問

予算決算委員会

- ・議員2名による個人質問を行いました。
- ・市長から平成23年度一般会計補正予算など議案16件が提出されました。
- ・議案41件をそれぞれ所管の常任委員会に付託しました。

3月6日(火)、7日(水) 予算決算委員会

- ・付託された予算案29件について各部課ごとに審査する普通質疑を行いました。

3月8日(木) 総務民生委員会

- ・付託された議案20件及び請願2件について審査を行い、議案についてはいずれも可決、請願についてはいずれも不採択にすべきと決しました。



総務民生委員会

3月9日(金) 産業環境委員会

- ・付託された議案6件および請願1件について審査を行い、議案についてはいずれも可決、請願については採択にすべきと決しました。



産業環境委員会

3月13日(火) 予算決算委員会第1分科会

- ・企画総務部、健康福祉部、消防本部、教育委員会の予算案について審査を行いました。

3月14日(水) 予算決算委員会第2分科会

- ・市民環境部、経済建設部、企業局の予算案について審査を行いました。

3月21日(水) 予算決算委員会

- ・各分科会から審査の報告を受け、採決を行い、いずれも可決すべきと決しました。

3月23日(金) 本会議

- ・第1回定例会に提案されたすべての議案について各常任委員長の報告を受け、採決を行った結果、議案60件についてはいずれも可決、請願3件のうち2件は採択、1件については不採択と決しました。

人事案件(第1回定例会)

○監査委員に

ただまさたか
多田 正孝氏 (藍住町)

○人権擁護委員に

やまもと けいこ
山本 恵子氏 (撫養町)
かなざわ としあき
金澤 利明氏 (大麻町)

○固定資産評価審査委員会委員に

はらうち ひでみ
原内 日出美氏 (北灘町)
とみだ たかお
富田 崇夫氏 (大麻町)
たけやし ひさよ
武林 久代氏 (里浦町)

代表質問



新みらい 良裕
派 新みらい 派
会 津 三

- 市長の政治姿勢について
- クリーンセンターについて
- 市道について

問 地震・津波の防災対策について。
答 人命を守ることを最優先とし、地域の声を聞きながら取り組んでいきます。

問 防災・減災対策の観点における、市内の老朽化した道路や橋の整備について。
答 地域の実情を反映した整備手法を検討し、橋梁長寿命化修繕計画の策定を行うなど、安全で安心な道路環境の整備に努めていきたいと考えています。



市民の生活に欠かせない橋

問 当分の間使用するとし、工事用進入路を拡幅した現在のクリーンセンターへの搬入路は、施設建設予定地を再度瀬戸町浦代にすると判断した重要な項目だが、榊木の国道11号線からの進入道路の計画の現状と今後について。
答 多額の事業費を要し、また地権者等の協力なくして進められないため、現時点で結論を出せる状況ではありません。

せん。今後もより具体的方法を見出せるよう検討していきます。

問 クリーンセンターの敷地の境界線の半分近くが未確定であることは市有財産の保全上問題があるが、今後の方針は。
答 現地の地形としては、境界確定作業を早急に実施せねばならない状況ではないと認識しています。

問 旧ごみ焼却施設の跡地利用推進委員会での審議内容と、跡地利用の現状および今後の方向性は。
答 現段階では具体的な活用案はまともありませんが、旧ごみ焼却施設解体とあわせた有効活用策を考えています。

問 市道明神日出線の改良はクリーンセンターへの進入・搬入路の整備ではなくあくまで市道の改良工事であり、平成15年度から平成22年度までの国庫補助事業となつているが、残り区間の進捗状況と今後の対応について。
答 供用していない4、5期工事区間については、地権者の方々と粘り強く交渉し、道路測量設計に取り組みたいと考えています。

代表質問



ひまわり 茂樹
派 ひまわり 派
会 よこ 横

- 鳴門病院について
- 障がい者福祉について

問 障がいのある方に対し、不利益・不都合を本人や家族の責任として社会が手を差し伸べないことは、人間尊重の観点から決してあってはならない。社会全体が補うべきだが、市としてどのように支援するのか。市をはじめ公的機関は事業者として自ら障がい者雇用や就業の場づくりに取り組むべきでは。
答 障がい者支援の一例として、特定の色を認知しづらい人に対し、市が発行する冊子などは、正しく情報伝達できるようカラーユニバーサルデザインの推進を図ります。また近年は採用実績がない障がい

者雇用をより多く確保できるよう、上級職だけでなく初級職の採用枠の検討を行うなど、働く意欲と能力のある障がい者の就労促進に向け取り組んでいきます。

問 鳴門病院の公的存続は危機的状況にあり、市長や議長、諸団体と共に、県が譲り受けてほしいとの陳情を行ったところ、県北部の公的拠点病院として位置づけ、県が鳴門病院の購入を決めたことについて、知事に深く感謝する。市民・関係者・行政の協力が公的存続の絶対条件だと思うが、市長として今後どのように取り組むのか。
答 ソフトランディングでの移行、医師と看護師の確保、政策医療の充実、病院施設や医療機器設備の充実などを主張し、市民が守り育てる病院として市民意識を高めるためにも、皆様の一層の支援・協力をお願いします。



COLOR UNIVERSAL DESIGN

カラーユニバーサルデザイン機構の
ロゴマーク

代表質問



会派 新政会
おおいし みちこ
大石 美智子

● 人口減少対策について
● 地域医療を守る対策について

【問】本市の人口減少対策として、都市計画による線引きの見直しが必要ではないか。また特色ある教育(外国語教育)推進などの取り組みにより、子育て世代の人口増も図れるのではないか。

【答】人口減少、少子高齢化の進展など、地域活力の低下が懸念される中、市が定めることのできる地区計画制度を活用し、市街化調整区域でも用途制限に適合する建築が可能となるような地域の実情に合った規制への見直しを検討しています。現時点では、利便性の高い地域や地域活力の維持が必要な地域について、この制度の活用を考えています。

特色ある教育については、全国に先駆けて小学校専属のALT(外国語指導助手)の配置や、外国語活動の研究拠点校を設置するなど実践研究を進めており、本市の子ども達が豊かな国際感覚を身につけ世界にはばたくよう、より魅力ある教育にしていきます。



ALT(外国語指導助手)による英語の授業
(写真は鳴門東小学校)

【問】鳴門病院の存続問題などで医療に対する市民の不安は大きくなっているが、地域医療を守る対策について市長の考えは。

【答】地域医療を守ることとは、医療が限りある資源であることを市民が理解し、一人一人が適性受診を心がけることにより医師や救急医療などを守ることだと考えています。本市では引き続き、コンビニ受診の自粛やかかりつけ医を持つことなどへの啓発活動に取り組んでいきます。

代表質問



会派 明政クラブ
やまね いわお
山根 巖

● 環境行政について
● 新学校給食センターの建設について

【問】鳴門市クリーンセンター周辺の環境整備事業について、今後の対応は。

【答】今後の地元対策事業や地域の環境整備にかかる事業、クリーンセンターに関する問題については、現在、市との連絡調整という役割を担っているクリーンセンター環境保全協議会の皆様との協議をふまえながら対応していきたいと考えています。

【問】新学校給食センター建設にあたっての考え方やプランについて。

【答】新学校給食センターの処理能力については1日5,000食程度を考えており、施設の位置は、学校給食衛生管理基準により調理終了から喫食まで2時間以内と定められていることから、市の保有地のうち活用可能な公共用候補地の中から選定していきたいと考えています。



「なると学校食育の日」の給食 (明神小学校HPより)

ています。
なお、建設にあたっては、何より保護者のご理解が重要であり、平成24年度の早い時期に説明会を行いたいと考えています。また、意見や要望の中で必要と考えられるものは基本設計に盛り込み、特色ある新学校給食センターにしていきたいと考えています。

代表質問



党公明
子とみ富
会派
まつうら
松浦

- 人口減少及び消費税の増税について
- 学校施設の防災機能整備について

【問】今、人口減少時代において、経済政策として企業の海外進出および海外展開への積極的取り組みや、人材の育成・確保のための人材強化が必要だが、市長の考えは。また、人口減少がもたらす税収の減少や社会保障費の増大、インフラ整備の需要低下などが経済成長の妨げとなる一方、地方公共団体の歳入増にもなる消費税増税に対し、市長の考えは。

【答】平成24年度よりエコノミックゲーディングの手法を用いた地域経済活性化に取り組み、第6次鳴門市総合計画に掲げる施策を着実に実施することにより、本市の活性化を目指していきます。

消費税の増税については、国会などでの十分な議論を願い、今後の推移に注意しながら適切に対処したいと考えています。

【問】東日本大震災で、多くの方が



市内の小学校に備蓄されているペットボトルの飲料水

避難所での疲労やストレス、不眠、不衛生や寒さなどで亡くなられたが、災害時の防災拠点となる学校施設の防災機能整備の現状は。

【答】現在、市内の小中学校24校全ての体育館が避難場所に指定されており、今後予定されている耐震補強工事にあわせ、可能な範囲で防災機能を高める措置を検討していきます。具体的には、各校に毛布数十枚とブルーシート、飲料水のペットボトルを、教職員と児童生徒の人数分の2倍程度を配布しました。

個人質問



次靖
やすし
かわたく
川宅

- 福祉行政について
- 土木行政について
- 防災行政について

【問】健康保険鳴門病院と介護保険制度について。

【答】鳴門病院は、県内6ヶ所目の地域医療支援病院として承認され、また徳島県地域医療再生計画において公的存続への支援や拠点機能強化が位置づけられました。今後も市医師会などの関係者と連携し、公的病院として発展できるように取り組んでいきます。

介護保険制度については、高齢者の総合的相談窓口の拠点として地域包括支援センターの機能強化を図ります。また、今年度から平成26年度までの介護保険料基準額は4,800円に据え置きます。

【問】住宅リフォーム助成制度と入札制度について。

【答】住宅リフォーム助成制度のうち簡易耐震リフォーム支援事業は、耐震診断で倒壊およびやや危険と診断された木造住宅を対象とした、リフォームを伴う簡易耐震化工事に対する支援制度です。

入札制度について、平成22年度から工事および工事を伴う業務委託の入札は全て電子入札で執行しており、入札の透明性・公平性をより高めるため、



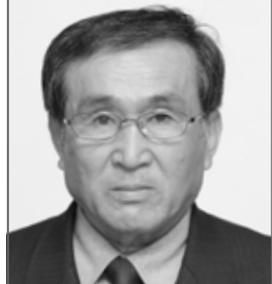
屋上フェンスを設置予定の里浦小学校

【問】防災における取り組みについて。

【答】徳島県沿岸における津波高暫定値報告書では、浸水地域が津波町や大麻町の一部にも広がりました。また粟津地区も津波避難困難地域になると考えられるため、里浦小学校の屋上にフェンスを設置します。粟津・恵美寿地区の新たな避難施設建設については、今後地域の皆様と検討します。

今年度からは一般競争入札を試行しています。

個人質問



二保 やすひら つか平塚

下水道問題について
鳴門病院東側道路
拡幅について

【問】鳴門市の下水道使用料金は、なぜ水道料金の2倍以上もかかるのか。また、なぜ供用区域の加入率が悪いのか。

【答】下水道使用料金は、事業を進める前提である健全な経営を実現する上で必要不可欠な財源と考えています。昨今の長引く不況などが家計に与える影響をふまえ、地方交付税の算定において不利な取り扱いを受けない範囲内として1立方メートル当たり20円の減額措置を引き続き実施します。

供用開始区域については、事業経営の早期安定化のためにも、助成制度の拡充や施策内容の周知により加入率向上に努めます。

【問】鳴門病院東側の道路の拡幅について、市民の命を預かる救急外来入り口の道路は現在、車1台がやっと通行できる状況であり、多くの市民から道路の拡幅工事を急ぐよう要望があるが。

【答】本道路は、市の中核医療を担う鳴門病院へのアクセス道路、また周辺住民の生活道路として多くの市民が利用されている重要な道路であり、拡幅対策が必要と認識しています。今後は関係機関と協議を重ね、整備の手法について前向きに検討していきたいと考えています。



道路拡幅が求められる鳴門病院東側の市道

個人質問



上田 こうじ うえだ

公共下水道事業について
教育行政について
文化振興について

【問】公共下水道事業特別会計は、2億円以上も一般会計からの繰り入れがありながら、いかにも黒字であるかのように広報なるとに表記しているが、年間収支が下水道使用料だけで黒字になるのはいつか。

【答】維持管理収支の黒字化を達成する時期を平成46年度と見込んでいますが、公共下水道整備が都市計画施設の1つとして位置づけられていることを考えると、必ずしも一般会計からの繰り入れを不要とすることを事業目的にする必要はないと考えています。

【問】鳴門市第一中学校の改築工事の説明会で要望のあった給食室について、改築工事の設計段階において保護者の要望を受けた形での変更は可能か。

【答】平成24年度の早い時期に新学

し、その時の意見・要望の中で必要と考えられるものは、可能な限り基本設計に盛り込んでいきたいと考えています。



耐震化計画が進められる
鳴門市第一中学校

【問】旧鳥居記念博物館の今後の活用について、市民の声を生かすことは市の責務だと考えるが。

【答】今後できる限り、地元川東地区をはじめとする市民の方々の思いを反映できるよう情報提供や意見交換、現地視察など市民参画の機会を設け、耐震化の実施設計画などに取り組んでいきたいと考えています。

個人質問



しおざき てるちか
潮崎 焜及

競艇事業について

【問】私は、鳴門町漁業協同組合および新鳴門漁業協同組合に支出されていた公金を、民法第703条による不法利得とし市への返還を求めため、住民監査請求した。これは、当該漁業組合を悪意の受益者と判断し、当該組合が受けた利益の返還を求めらるものである。私は、一般質問、住民監査請求、住民訴訟のいずれにおいても、全て日本国憲法および法律、法令に従った手続きで正々堂々と全市民の前で発言する。市の競艇事業は予算決算委員会で、法的根拠のない市の公金の支出を認めた。市長はこの責任を認め、当該漁業組合に協力金と称して支出した市民の財産の返還を求めないのか。求めないのであれば、違法行為でないとする詳しい理由は。

【答】現在、住民監査請求が出されているため、考え方などについてはその手続きにおける説明の中で示していきたいと考えています。

【問】市長は議長に対し、議長および議会の政治権限で私の発言について、私に謝罪と発言内容の訂正を求めらる旨の要請をしている。なぜ市長は正々堂々と市民の前で反論しないのか。



鳴門競艇場

【答】議員に圧力をかける行為と言われることは心外であり、むしろこうした申し入れを行うに至った背景をしんしゃくしてほしいと考えます。

個人質問



ばんどう しげみつ
坂東 成光

東日本大震災の教訓を生かした本市の防災対策について

【問】県が公表した津波高暫定値や暫定津波浸水予測図をふまえ、市は現段階でどのような対策や対応をする予定か。

【答】市職員や市民、関係機関に県の公表内容の周知を行うとともに、消防団、自主防災会・自治振興会の代表者との意見交換会を実施しました。今後は、暫定値に基づいて



市内の公共施設に設置されている海拔表示

【問】地震や津波による家屋や建物の倒壊もさることながら、津波が去ったあとの瓦礫や原発から漏れた放射能の問題など、2次的被害への対策が重要。里浦のごみ最終処分場が津波による被害を受ける可能性があるなら、撤去も含め、計画的に対策を講じる必要があるが。

【答】津波被害を想定すれば撤去が最良の方法ですが、現在の市の財政状況では即時に対応できる状況ではありません。今後適切な管理を行うとともに、解決策のために必要な財源措置を含めて検討していきたいと考えています。

個人質問



お男 茂 藤田 たふじ 茂 藤

● 農業振興について

● 防災・災害対策について

【問】大手海岸は大量の砂の蓄積により座礁などの危険性がある。適切な海洋保全の観点からも、海砂を手入れ砂として利用できるように国・県に対し強い決意を持って働きかけるよう強く要望するが、なると金時の栽培にも欠かせない手入れ砂の確保に向けた市の取り組みについて。

【答】平成22年には知事、市町村長の地域懇話会において、平成24年度3月末に使用期限切れとなる吉野川の砂を引き続き利用できるよう強い決意と熱意を持って対策の強化を求めました。今後も市内農協や県内の関係市町と連携するとともに、庁内の組織強化にも努めたいと考えています。

【問】避難困難地域となることが見込まれる粟津・恵美寿地区の避難について、加圧揚水施設「ファームポンド」を津波避難タワー的施設にしてはどうか。あるいは、休園中の

里浦保育所や立岩の旧老人ホーム跡に防災機能を備えた新学校給食センターを建設してはどうか。

【答】ファームポンドの一時避難施設としての活用については、津波からの避難を考える上で1つの検討課題と認識しています。

また、新学校給食センターを、防災機能を付加した複合的施設とすることについては、基本設計計画策定にあたり十分検討すべき課題と認識しており、今後検討していきます。



なると金時の砂地畑とファームポンド

中国 張家界市訪問団が市議会を訪れました

5月8日(火)に鳴門市と友好都市

提携を締結している中国湖南省 張

家界市訪問団が鳴門市を訪れ、胡建

国訪問団代表をはじめ、8名の方が

市議会を訪問されました。



張家界市は中国の中南部に

位置し、市内に世界遺産の

「武陵源風景名勝区」を有し、

観光を主な産業としている本

市との共通点もある街です。

会は、終始和やかな雰囲気

の中、お互いの市の特色をPR

するなど歓談が行われ、今後、

交流がより深まり、観光客の

増加などの期待がされます。

第1回定例会の提出議案と議決結果について

議案番号	案 件	議決結果	備 考		
議案第1号	平成24年度鳴門市一般会計予算	原案可決	予算決算委員会にて審査		
議案第2号	平成24年度鳴門市国民健康保険事業特別会計予算				
議案第3号	平成24年度鳴門市後期高齢者医療特別会計予算				
議案第4号	平成24年度鳴門市介護保険事業特別会計予算				
議案第5号	平成24年度鳴門市公共下水道事業特別会計予算				
議案第6号	平成24年度鳴門市公設地方卸売市場事業特別会計予算				
議案第7号	平成24年度鳴門市産業団地開発事業特別会計予算				
議案第8号	平成24年度鳴門市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算				
議案第9号	平成24年度鳴門市光熱水費等支出特別会計予算				
議案第10号	平成24年度鳴門市給与費等管理特別会計予算				
議案第11号	平成24年度鳴門市公債費管理特別会計予算				
議案第12号	平成24年度鳴門市水道事業会計予算				
議案第13号	平成24年度鳴門市運輸事業会計予算				
議案第14号	平成24年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算				
議案第40号	平成23年度鳴門市一般会計補正予算(第3号)				
議案第41号	平成23年度鳴門市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)				
議案第42号	平成23年度鳴門市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)				
議案第43号	平成23年度鳴門市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)				
議案第44号	平成23年度鳴門市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)				
議案第45号	平成23年度鳴門市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算(第1号)				
議案第46号	平成23年度鳴門市産業団地開発事業特別会計補正予算(第1号)				
議案第47号	平成23年度鳴門市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)				
議案第48号	平成23年度鳴門市文化会館事業特別会計補正予算(第2号)				
議案第49号	平成23年度鳴門市光熱水費等支出特別会計補正予算(第1号)				
議案第50号	平成23年度鳴門市給与費等管理特別会計補正予算(第1号)				
議案第51号	平成23年度鳴門市公債費管理特別会計補正予算(第1号)				
議案第52号	平成23年度鳴門市水道事業会計補正予算(第1号)				
議案第53号	平成23年度鳴門市運輸事業会計補正予算(第1号)				
議案第54号	平成23年度鳴門市モーターボート競走事業会計補正予算(第2号)				
議案第15号	鳴門市条例を左横書きに改正する措置及び用字、用語等の整備に関する条例の制定について			原案可決	総務民生委員会にて審査
議案第16号	鳴門市職員定数条例の一部改正について				
議案第17号	鳴門市特別職の職員の給与及び旅費の支給に関する条例の一部改正について				
議案第18号	鳴門市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について				
議案第19号	鳴門市特別職報酬等審議会条例の一部改正について				
議案第20号	鳴門市職員諸給与条例の一部改正について				
議案第21号	鳴門市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について				
議案第22号	鳴門市税賦課徴収条例の一部改正について				
議案第23号	鳴門市介護保険条例の一部改正について				
議案第24号	鳴門市男女共同参画推進条例策定審議会条例の制定について				
議案第25号	鳴門市消防手数料徴収条例の一部改正について				
議案第26号	鳴門市教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について				
議案第27号	鳴門市立幼稚園、小学校、中学校に従事する職員の特殊勤務手当に関する条例の廃止について				
議案第28号	鳴門市立幼稚園に従事する教育職員の給与等に関する特別措置条例の制定について				
議案第29号	鳴門市教育委員会事務局に属する教育公務員の退職手当に関する特別措置条例の制定について				
議案第30号	鳴門市立小学校設置条例及び鳴門市立幼稚園条例の一部改正について				
議案第31号	鳴門市立鳴門工業高等学校条例の廃止に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について				
議案第32号	鳴門市公民館条例の一部改正について				
議案第33号	鳴門市立図書館条例の制定について				
議案第55号	工事請負契約の締結について(鳴門市消防庁舎車庫棟増築工事のうち建築工事)				
議案第34号	鳴門市墓地等の経営の許可等に関する条例の制定について	原案可決	産業環境委員会にて審査		
議案第35号	鳴門市特別会計設置条例の一部改正について				
議案第36号	鳴門市営住宅条例の一部改正について				
議案第37号	鳴門市地区計画等の案の作成手続に関する条例の制定について				
議案第38号	鳴門市企業立地奨励条例の一部改正について				
議案第39号	松茂町ほか二町競艇事業組合と鳴門市との間におけるモーターボート競走施行に関する事務の受託に係る協議について				
報告第1号	専決処分について(損害賠償の額の決定)	報 告			
発議第1号	鳴門市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決			
発議第2号	鳴門市議会会議規則を左横書きに改正する措置及び用字、用語等の整備に関する規則の制定について				
同意第1号	監査委員の選任について	同 意			
同意第2号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意			
諮問第1号	人権擁護委員の推薦について	同 意			
意 第1号	「人権侵害救済機関設置法案」国会提出に反対を求める意見書	原案可決			

請願の処理

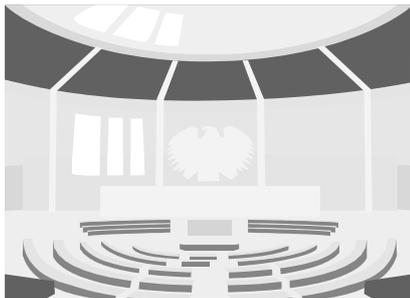
請願番号	案 件	審査結果
請願第20号	鳴門病院東側の道路を拡幅し市民の命を守る為の請願書	採 択
請願第21号	人権侵害救済機関設置法案に反対する意見書提出についての請願書	
請願第22号	消費税の増税に反対する請願書	不 採 択

平成24年度当初予算 ・平成23年度補正予算の審査について

今定例会において予算決算委員会に付託された議案29件について説明を受け、7日間にわたり分科会および委員会を開催し、審査を行いました。分科会での審査概要は次のとおりです。
(※平成24年4月より、一部の課の名称が変更されています。)

議会事務局

◆議会報発行経費については、議会だよりの誌面充実を検討中であることから、必要額の措置を要望する意見がありました。



総務課

◆法定外公共物の管理業務について、既に機能を失っている市有財産はできる限り払い下げに応じるなど適切な財産処分を行うよう要望がありました。

人事課

◆職員数の削減については、市民サービスに影響のないよう人材育成および事務改善を行い十分な業務体制を整える必要があるとの意見がありました。

税務課

◆市税の増収について、市の施策や予算にどう反映しているか広報などによる市民への十分な説明の要望がありました。
◆不納欠損金となる前に対策を講じるよう要望があり、次年度への滞納繰越分の減額のため現年分の徴収率向上に力を入れるとのことでした。

秘書広報課・情報化推進室・危機管理室

◆バックアップデータについて、現行の保管方法では最大2週間分までの保存となるため、前日分までのデータが保管できるような対策への要望がありました。

◆標高を示す看板の設置については、現在の避難場所である小中学校や集会所などの施設所有者の了解を得ながら平成23年度末より実施することでした。また、住民の要望に応じて避難経路上に避難場所までの案内表示を設置するよう要望がありました。

企画課・交通政策室

◆旧鳥居記念博物館について、現地視察や説明会などを通じ、耐震化の実設計に入ることからの市民等の参加を求めてはどうかとの意見がありました。



◆市営バスの地域バスへの移行については、委託後も現在の路線や運行便数の維持に努めるとともに、より利便性を向上させるための運行経路を検討するよう要望がありました。また、県外客目線での見直しにより市の経済発展につなげるよう要望がありました。

財政課

◆公債費について、本市は平成22～24年の各年度に補償金を免除した繰上償還くりあげしやうかんを実施しており、財政運営上、今後もできる限り市債減に努めるとのことでした。

市民協働推進課

◆「地域づくり事業活性化補助金」は、平成24年度より、これまでの「コミュニティ活動補助金」を統合した補助金であり、地域活性化のため有効活用するよう各地区への指導の要望がありました。

市民課

◆連絡所で勤務する市のOBの臨時職員に各地区のまちづくりのまとめ役を担ってもらえないかとの質疑に対し、連絡所業務への上乘せは難しいが別の形で検討したいとのことでした。

文化交流推進課・文化会館

◆ドイツ館管理運営費の修繕料について、契約上1件5万円以上の修繕は市の負担になり、大部分の修繕がこれに該当すると想定されるため、契約内容を今後精査する必要があるのではとの意見がありました。
◆文化会館の指定管理者制度については、期間終了時に施設の利用人数や事業成果などの実績を報告するよう要望がありました。

環境政策課

◆合併処理浄化槽の法定検査については、検査の時期や内容が分かりづらいとの指摘に対し、今後はより周知徹底を図るとのことでした。

グリーンセンター

◆市内3処分場の排水の水質調査及び施設維持管理などについて、城山・場内は水質などの基準値が地元との協議で定めた基準を満たせば廃止可能だが、里浦は安定型処分場の一部の箇所しよすいに遮水シートがないため永久的管理が必要とのことでした。

◆東日本大震災で生じた瓦礫がれきの処理の受入協力については積極的に検討するよう要望があり、今後の国・県の動向を注視し検討するとのことでした。

健康づくり課

◆自殺予防対策について、市の自殺者が増加傾向にあることから平成23年度より、いのちの電話の市民ボランティア養成や市の保健師が専門機関の研修を受け自殺予防につながる相談業務が行える体制づくりを進めているとのことでした。市民から自殺者が出ないよう啓発運動や相談業務の強化への要望がありました。

保険課

◆国保連合会負担金について、市民の負担軽減につながるよう連合会に申し入れをしてはどうかとの意見がありました。

長寿介護課

◆老人クラブ補助金および老人憩いの家管理費に関し、介護予防対策として高齢者への元気づくりの事業充実に対する要望がありました。

◆認知症や一人暮らしの高齢者への対応は行政の責務であり、国・県の補助金や地域のネットワークを利用して高齢者の見守りに積極的に取り組むとのことでした。

社会福祉課

◆生活保護ふじよ扶助費について、生活保護受給者数は急増傾向にあり、景気後退の影響による失業者数の増加が大きな要因とのことでした。また、市の負担は生活保護法に基づき4分の1であるとのことでした。

子どもいきいき課

◆次世代育成支援対策施設整備補助金について、耐震改修できていない4カ所の私立保育所に加え公立保育所についても国の動向を見据え、施設の耐震改修など保育環境整備の方向性を示すよう要望がありました。

土木課

◆社会資本整備総合交付金の予算について、木津野・松村線の工事区間については国道28号線交差点から県道川内・大代線の区間2.4kmが対象であり、現在の進行状況は50%程度とのことでした。

まちづくり課

◆住宅管理について、市民に対し各支援事業の内容の違いや申請方法などの分かりやすい周知・啓発をするよう要望がありました。

◆市営住宅耐震診断について、今年度の診断対象となる市営住宅は、継続して利用予定であり耐震が不十分で古い住宅のうち建物にひび割れなどがあるものとのことでした。

下水道課



◆下水道の受益者負担金について、現在の収納率は90%程度であり滞納者には催告状などで納付を促しているとのことでした。また下水道の供用開始促進のため、受益者負担金や使用料について市民に対し正確な情報周知をするよう要望がありました。

公園緑地課

◆ドイツ村公園の整備については、現在教育委員会が平成25年に板東俘虜収容所跡地を国の史跡指定に申請する方向で進め、今後委員会が行う史跡の文化財保存事業とあわせて再整備を予定しており、その他の箇所は一般的な交付金事業として取り組んでいるとのことでした。公園の多面的活用を検討した上で年次計画を立てるよう要望がありました。

商工観光課

◆市観光協会について、会費や協賛金などに加え法人化後は自主的事業からの収益も自主財源になるとのことでした。法人化後も活動が制限されないよう行政から継続した多目的補助が必要との意見があり、今後も観光振興の核としての役割を果たせるよう行政としてフォローしていくとのことでした。

農林水産課・農業委員会・公設地方卸売市場



鳴門らっきょ畑

◆六次産業化推進について、六次産業化サポートセンターの助言を依頼するとの説明に対し、各分野の専門知識を有する地元の方にも積極的に協力要請をしてほしいとの要望がありました。

消防本部

◆現在使用中の同報無線について、デジタル方式へ早期に切り替えるよう要望がありました。
◆団員の安全を守るための災害時の行動マニュアル作成や、活動中の各団員への情報伝達を瞬時に行うための手段、消防の広域化など東日本大震災をふまえた施策が必要との意見もありました。

水道事業課

◆耐震管への布設替^{ふせつがえ}の状況と今後の見通しについては、市内水道管のうち50km程度は完了、今年度は6km程度実施予定であり、今後も市民に対し計画など十分説明し事業を実施するよう要望がありました。
◆資本的収入・支出の収支の点から、布設替^{ふせつがえ}や運転のための資金の確保への懸念^{けんねん}に対し、減債積立金^{げんさいつみたてきん}などの補填財源はまだ十分余力があるため心配ないとのことでした。

競艇企画管理課・競艇業務推進課

◆施設改善基本計画・設計業務について、撫養港海岸保全事業の動向を見ながら今年度中の早い時期に計画を示すとの説明に対し、各機関や日程などの調整に長期間を要するため、より積極的に進めるべきとの意見がありました。

教育総務課

◆調理方式について、ドライシステムへの転換は給食調理室の老朽化に加え給食提供との並行作業となるため、一時的な代替スペースの確保が困難な学校があるなどの現状からセンター方式がよりよいとする一方、自校式を希望する保護者の理解も得るためセンター化にこだわらず慎重に検討するよう要望がありました。

生涯学習人権課

◆総合型地域スポーツクラブ支援事業について、円滑な支援や市民との意思疎通を図ることでより機運を盛り上げるよう要望がありました。

議会だより編集委員会

委員長	野田 粹之
副委員長	谷崎 徹
委員	秋岡 芳郎
委員	潮崎 焜及
委員	林 勝義
委員	平塚 保二
委員	松浦 富子
委員	山根 巖

第二回定例会日程

平成24年第二回定例会は、5月31日から6月19日までの20日間の予定です。

5月31日(木) 全員協議会

第二回定例会 開会
予算決算委員会(議案説明)

6月1日(金) 休会 一般質問通告締切

2日(土)～7日(木) 休会

8日(金) 一般質問(会派代表質問)

9日(土)、10日(日) 休会

11日(月) 一般質問(個人質問)

議会運営委員会

12日(火) 一般質問(個人質問)

予算決算委員会(質疑・採決)

13日(水) 休会 総務民生委員会

14日(木) 休会 産業環境委員会

15日(金)～17日(日) 休会

18日(月) 休会

議会運営委員会・全員協議会・議会運営委員会

19日(火) 第二回定例会 閉会

※大字についてはインターネット中継、録画配信を実施します。